

8・3開幕リポピタンカップ第45回リトルシニア日本選手権

関東連盟から出場18チームの意気込み

「リポピタンカップ」第45回日本リトルシニア日本選手権が8月3〜8日、東京・神宮球場などで全国から48チームが出場して行われる。関東連盟からは5支部の18チームが出場する。中学生最後の夏、日本一を目指して各チームは最後の調整を行っている。各チームの監督、監督に意気込みを聞くとともに、各支部長からチームの特徴とともに期待とエールを送ってもらった。

関東連盟4年ぶり全国Vだ

①世田谷園(2年連続11回目) 夏の全国制覇は3回(02、08、13年)。6年、5年という間隔からいけると、前回Vから4年、夏季関東大会を制した今年も優勝が狙われる。梅村大和監督は「投打とも好調な勢いをそのままに勝ちを伸ばしたい」と意気込み、吉田昌弘監督は「新チームから1年でよくこなして打ちたい」と守り、成長してきた、強いチームと対戦することが宝物になるはず」と期待している。

打線がなれば3度目Vも

②佐倉(8年連続15回目) 2度の全国制覇(06、14年)の実績を誇る日本選手権の常連で、夏季関東大会で準優勝した。西川泰祐監督は「目標は優勝です。チーム全員の力を、最大限発揮して、悔いなき戦いを目指します」と力強い。松井進監督は「投手を中心とした守備力は整ったと思う。あとは、打線がなれば、いい勝負ができると思う」と、日本一への手ごたえをつかんでいる。

1戦1戦チーム一丸で全力

③浜松(15年ぶり11回目) 夏季関東大会では打線が好調で、3位に入った。佐野勝監督は「選手たちは、しっかりと『力』と『技術』、『身体』を作ること、重点を置き取り組んできた。大手、細田、杉田の3投手を切れ目ない打線が支えるという形が出来上がってきた」という。大手晴監督は「1戦1戦チーム一丸となって全力で戦います」と、82年以來2度目の全国制覇のチャンスだ。

過去最高の準優勝狙え

④取手(2年ぶり4回目) 夏季関東大会4位に、石崎学監督が「1500点」と評したほど、大会に入って急成長した。渡邊貴斗監督は「チームスローガンの『凡事徹底』『剛毅果敢』を合言葉に日々、練習を積み重ねてきたことが成果となって表れた。石崎監督は「先を見ずに1戦1戦、戦いたい」と思っています」と話す。渡邊監督も「全国制覇を目指したい」と、過去最高の12年連続優勝を超えるのが目標だ。

全員野球で全国制覇を目指す

⑤桐蔭(2年連続7回目) 久保田優之介監督は「全国制覇を目標に今まで頑張ってきた。自分たちが全国制覇を狙える大会は日本選手権で最後です。今までやってきたことを全て出し切り全員野球でつかみ取りたい」と意気込み、飯塚良二監督は「もう一度、投手力の整備が必要。打撃もしっかりと初球から振れる力を付けること。個々の力を結集しチーム全体で一戦必勝で臨みたい」と、昨年3位を超えたい。

エース島田の制球力に期待

⑥栗山(15年ぶり2回目) 島田旭主将は「昨夏以降、日々きつい練習に耐え、つらい合宿を乗り越えて精神的、肉体的にも大きく成長することができた。何事も折れそうになりましたが、みんなが励まし合い助け合ってきた」という。渡辺弘毅監督は「もう一度基本に戻り守備の強化をしたい。エース島田の制球力に期待。1点を取る、1点をやらない野球をしていきたい」と話した。

投打で10回優勝を目指す

⑦調布(5年ぶり30回目) 優勝9回の伝統を誇る。吉沢悠佑監督は「3年間で敵しかったこと、つらかったこと、楽しかったことなど全てを凝縮して臨み、笑って有終の美を飾れるようにします」と話した。安藤剛一監督は「大会ごとに着実に力をつけてきた。勝敗の鍵は投手を中心としたセンターラインの守りと、新納、野口の活躍率、金子、吉沢、清原を軸とした打線の奮起」と10回目の優勝を目指す。

2番手投手と外野守備強化

⑧武蔵野中(4年連続20回目) 田村主将は「これまでの間、全国制覇を目指して一生懸命練習してきました。その成果を発揮できるように、精いっぱい頑張らなければなりません」と力強い。今年もエース松本が黒柱。吉島良紀監督は「短期決戦では点の取り合いが予想されるため、守りが課題。本番に向け基本に立ち返り守備力を強化する。1300点を超えれば松本投手を軸に一戦必勝で戦う」と話した。

8年ぶり全国V燃えろ

⑨前田(18年ぶり3回目) 宇野竜一主将は「悔しい負けを秋も経験し、それをバネに18年ぶりの全国出場を果たしました。チームの徹底事項を選手で作成し、全員で実行してきた」と久しぶりの舞台に燃えている。宇野誠一監督も「夏季関東大会も初戦から3試合連続の1点差の試合をしてきた。チームとしてきた『前後断続』で今できることに集中したい」と話した。

30年超の松本軸で1戦必勝

⑩同僚(3年ぶり7回目) 小島歩主将は「これまでの間、全国制覇を目指して一生懸命練習してきました。その成果を発揮できるように、精いっぱい頑張らなければなりません」と力強い。今年もエース松本が黒柱。吉島良紀監督は「短期決戦では点の取り合いが予想されるため、守りが課題。本番に向け基本に立ち返り守備力を強化する。1300点を超えれば松本投手を軸に一戦必勝で戦う」と話した。



関東王者として4度目のV取りに挑む世田谷西



2度の全国優勝を誇る佐倉。今年は手応え十分



関東3位浜松は35年ぶりの大旗取りへ意欲満々



取手は過去最高の準優勝超えを目指す

大斗主将は「自分たちは春に果たせなかった日本一に向けて、日々練習してきました。試合では選手1人1人がすべてを出したと言えるところをしたいと思います」と話した。小泉隆幸監督は「もう一度、2番手投手と外野守備の強化に力を入れたい。山村が投打の中心ですが、その前後の主将田村、一塁岡本、捕手小沢のさらなる成長が優勝の力になると思う」と、05年以来2度目の優勝を狙う。

投手陣出来が勝敗分かれ目

⑪調布(5年ぶり9回目) 秋、春の関東王者。広瀬智也監督は「何が何でも勝つというチームでやってきました。1人1人が気持ち強く持ち、チームの力と長さを勝たせてきました」とチームの成長を挙げた。品田聡一監督は「北関東支部唯一の出場。少しでも上位に行きたい。連戦になるが、エース中林を軸に投手陣の出来が勝敗の分かれ目。打線の援護ができれば」と、過去最高のベスト8を超えたい。

昨年の20回戦以上を目指す

⑫江戸川中央(3年連続10回目) 小堀修司主将は「日本選手権の優勝を目標にやってきた。打力を中心とした試合をして、成し遂げたい」と意気込み。今までの試合の中で、個々の課題がある。日本選手権までにその課題を克服し、し

ベルアップする」とと屋代剛一監督。09年には全国制覇を経験している。屋代監督は「期待の選手は全員。昨年は2回戦敗退だったので、昨年以上に自覚」と話した。

投手陣で小技得点能力UP

⑬友部(2年ぶり5回目) 南勝樹主将は「日々の練習に励み、その成果を出す時が来ました。友部持前の元気と強気を発揮し、1戦1戦を戦い抜きたい」と意欲をみせる。「選手権までの課題は、投手陣と走塁を含めた小技での得点能力アップ。期待の選手は全員。出場している選手だけでなく、控え選手、ベンチを外れた選手も含めてチームに貢献してほしい」と原田明広監督。目標は2人とも「全国制覇」となっている。

15年ぶり制覇を狙え

⑭調布(2年ぶり7回目) 緒方将介監督は、夏季関東大会5回戦で敗退後、「日本選手権までの課題は、欠点である失点の多さを克服するために守備の強化とメンタルの強さを鍛えていく」と話している。青木優吾主将は「自分たちの良さは積極的な攻撃です。夏の関東大会はベスト16で負けましたが、悔しさをバネにして、1戦1戦油断せず戦って日本一を目指したい」と15年3位をまずは超えたい。

関東5支部長応援メッセージ

浦和期待 北関東2連覇へ浦和期待
選抜優勝佐倉も日本一

地区	出場チーム	出場回数	出場時刻
世田谷西	4府	10:00	
柏	3江	12:00	
弘前聖愛	5神	9:00	
兵庫北播磨	3府	12:00	
松阪梅村	4柏	12:00	
八王子	6神	9:00	
東大	4柏	10:00	
大千	3柏	12:00	
大千	5柏	10:00	
大千	3柏	14:00	
大千	4神	11:00	
大千	7神	10:00	
大千	4江	12:00	
大千	3上	14:00	
大千	5神	11:00	
大千	3江	14:00	
大千	4江	10:00	
大千	6神	11:00	
大千	4柏	10:00	
大千	3柏	12:00	
大千	5海	10:00	
大千	3府	14:00	
大千	4神	13:00	
大千	4柏	12:00	
大千	3海	12:00	
大千	5所	12:00	
大千	3所	14:00	
大千	4所	12:00	
大千	6神	13:00	
大千	4海	12:00	
大千	3川	14:00	
大千	5海	12:00	
大千	3所	12:00	
大千	4海	10:00	
大千	7神	12:00	
大千	4神	9:00	
大千	3上	12:00	
大千	5所	10:00	
大千	3川	12:00	
大千	4上	10:00	
大千	6神	15:00	
大千	4府	12:00	
大千	3柏	14:00	
大千	5神	13:00	
大千	3海	14:00	
大千	4所	10:00	

年	優勝	準優勝
73	尼崎	宮崎
74	尼崎	宮崎
75	尼崎	宮崎
76	尼崎	宮崎
77	尼崎	宮崎
78	尼崎	宮崎
79	尼崎	宮崎
80	尼崎	宮崎
81	尼崎	宮崎
82	尼崎	宮崎
83	尼崎	宮崎
84	尼崎	宮崎
85	尼崎	宮崎
86	尼崎	宮崎
87	尼崎	宮崎
88	尼崎	宮崎
89	尼崎	宮崎
90	尼崎	宮崎
91	尼崎	宮崎
92	尼崎	宮崎
93	尼崎	宮崎
94	尼崎	宮崎
95	尼崎	宮崎